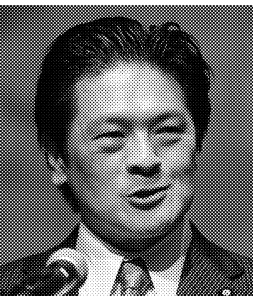




開催報告

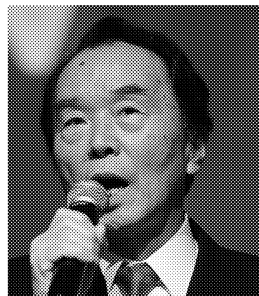
日時：平成27年
2月17日(火)
13:00~18:30 (開場 12:30)
場所：六本木ヒルズ森タワー
(49F 六本木アカデミーヒルズ)

主催：独立行政法人中小企業基盤整備機構
後援：経済産業省中小企業庁、独立行政法人科学技術振興機構、独立行政法人産業技術総合研究所、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター、公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会、株式会社日本政策金融公庫、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、株式会社商工組合中央金庫、全国地方新聞社連合会、株式会社日本政策投資銀行、日本ベンチャー学会、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会



経済産業大臣政務官
岩井 茂樹 氏

我が国の開業率は欧米の半分程度にとどまっている。経産省は創業支援促進のため、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を通じて市区町村が民間事業者と連携して支援を行うべく取り組みを全国で推進している。またベンチャー創造協議会を創設、大企業とベンチャー企業の連携促進など様々な活動に対する支援も開始した。日本再興戦略に掲げた開業率10%を達成できるようしっかりと取り組んでいく。



独立行政法人
中小企業基盤整備機構
理事長 高田 坦史

「受賞者が未来を支える優良企業に」
我が国は経済成長を促進するため日本再興戦略に沿った様々な取り組みを行っており、開業率10%への引き上げも一つの目標だ。成長の芽となる企業を増やすことは経済成長、地方創生に大きな効果をもたらす。そのモデルとなるベンチャー経営者を表彰するJVAも今年で14回目を迎え、受賞者から未来を支える有望な企業が育っている。今年は社会的課題に正面から取り組み、着実に事業化につなげる企業が多いのが特徴的。今後も、可能性を秘めたベンチャー企業とともに応援したいことをお願いしたい。

日本経済の将来を牽引する優秀なベンチャー経営者を表彰する「Japan Venture Awards 2015」(JVA2015、主催＝独立行政法人中小企業基盤整備機構)が、2月17日、東京都港区の六本木ヒルズ森タワーで開かれた。14回目を迎える今回は、高齢化時代を背景にした社会福祉分野をはじめ、多くの業種から152社が応募、選考の結果15社が表彰された。その中から最優秀経営者に与えられる「経済産業大臣賞」には、革新的な口腔ケア製品を開発したトライフの手島大輔代表取締役が選ばれた。表彰式を挟み、基調講演、パネルディスカッションなどが行われ、基調講演ではミドリムシで注目を集めているユーグレナの出雲充社長が「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。」と題して、ベンチャーを志したきっかけや足跡、今後の展開などを語った。当日の東京は雪と雨が入り混じる寒い1日だったが、会場にはベンチャーを目指す若い人たちをはじめ約400人が参加、熱い視線を送っていた。

受賞者リスト

経済産業大臣賞

(株)トライフ 代表取締役 手島 大輔氏

中小企業庁長官賞

アクティブ(株) 取締役副社長 阿部 正彦氏
(株)ライトニクス 代表取締役 福田 光男氏

中小機構理事長賞

岡山県青果物販売(株) 代表取締役 大西 直規氏
(株)マーケットエンタープライズ 代表取締役 小林 泰士氏
(株)すららネット 代表取締役社長 湯野川 孝彦氏

東日本大震災復興賞

一般社団法人WATALIS 代表理事 引地 恵氏

ライフスタイル創造特別賞

(株)ホワイトプラス 代表取締役社長 井下 孝之氏

医療技術奨励特別賞

iHeart Japan(株) 代表取締役社長 角田 健治氏

グローバル人材育成支援特別賞

特定非営利活動法人クロスフィールズ
代表理事 小沼 大地氏

アントレプレナー特別賞

(株)仙拓 代表取締役社長 佐藤 仙務氏

介護福祉特別賞

(株)ホスピタリティ・ワン 代表取締役 高丸 慶氏

社会貢献特別賞

(株)スパーテル 代表取締役 橋本 昌子氏

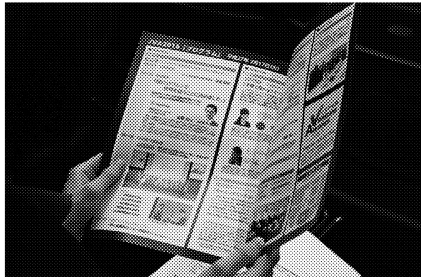
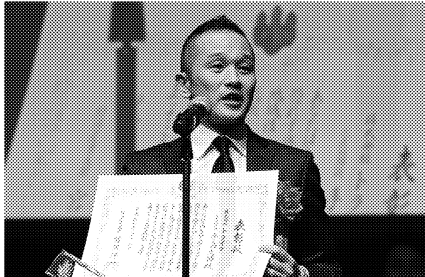
地方創生特別賞

(株)サラヴィオ化粧品 代表取締役会長 濱田 茂氏

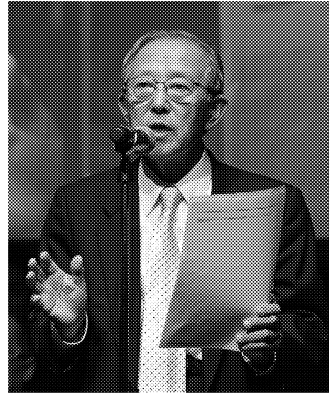
ヘルスケア貢献特別賞

スリーブウェル(株) 代表取締役 吉田 政樹氏

過去最多の応募にベンチャー成長の手ごたえ



今年は応募件数が多かったことを反映し、経営者、ビジネスの内容が大変しっかりしている。製造業からサービス業まで多様な業種業態が含まれ、ベンチャー企業が確実に育つという手ごたえを感じた。特に今年は医療系、社会福祉系、農水系、情報系が目立った。株式会社が多数だが、社会貢献型事業が多かったのも特徴だ。経済産業大臣賞を獲得したトライフの手島大輔氏は



JVA2015審査委員長
委員長 柳 孝一 氏

「僕らはミドリムシで世界を救うことに決めました。」と題して、ベンチャーを志したきっかけや足跡、今後の展開などを語った。当日の東京は雪と雨が入り混じる寒い1日だったが、会場にはベンチャーを目指す若い人たちをはじめ約400人が参加、熱い視線を送っていた。

Japan Venture Awards 2015 実施概要

募集期間 平成26年 9月10日～10月29日(応募数152件)
応募対象 創業後概ね15年以内であり、高い志を持ち、自立する中小企業などの経営者又は代表者

審査基準

[1]新規性・革新性

[2]成長性・将来性

[3]経営者の資質

[4]社会的な影響度

■基調講演

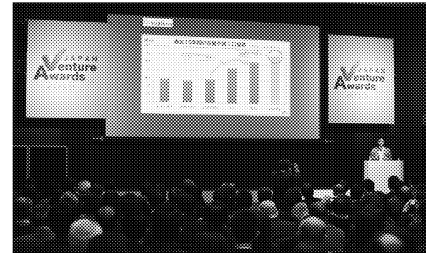
ベンチャーに大企業の経験と見識を僕はミドリムシで

世界を救うことに決めました。



「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。」と題して、ベンチャーを志したきっかけや足跡、今後の展開などを語った。当日の東京は雪と雨が入り混じる寒い1日だったが、会場にはベンチャーを目指す若い人たちをはじめ約400人が参加、熱い視線を送っていた。

「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。」と題して、ベンチャーを志したきっかけや足跡、今後の展開などを語った。当日の東京は雪と雨が入り混じる寒い1日だったが、会場にはベンチャーを目指す若い人たちをはじめ約400人が参加、熱い視線を送っていた。



(株)ユーグレナ
代表取締役社長
出雲 充 氏

プロフィール
東京大学農学部卒、2002年東京三菱銀行入行。2005年8月株式会社ユーグレナを創業、代表取締役社長就任。同年12月に、世界でも初となる微細藻類ユーグレナ(和名:ミドリムシ)の食用屋外大量培養に成功。2014年12月東証マザーズから東証1部に市場変更。
Japan Venture Awards「経済産業大臣賞」受賞(2012年)、世界経済フォーラム(ダボス会議) Young Global Leader選出(2012年)。第1回日本ベンチャー大賞「内閣総理大臣賞」受賞(2015年)。信念は「ミドリムシが地球を救う」。著書は「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。」(ダイヤモンド社)。